

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第396回

永守重信

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年9月18日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

自ら“出来る”と信じた時に、 その仕事の半分は完了している。

永守 重信は、日本の実業家。ニデック株式会社の創業者・代表取締役会長兼最高経営責任者。長男はレック株式会社代表取締役社長の永守貴樹。次男は、エルステッドインターナショナルの代表取締役社長・永守知博。

Column

今回の言葉から“できそうだからやる”というのとは違い、できる（やってやる！）と信じられた時にはじめて“やる覚悟”が決まるのだと改めて感じました。いわゆる“踏ん張りどころ”で悩んだり迷ったりしている時などは、よく『覚悟を決めろ！』と励まされますが、覚悟を決めるということは『努力＝我慢』ということを受け入れるとも言えますから簡単なことではありませんよね。例えば、もうすぐ始まる夏休みで友達が遊びに出かけている中、目標達成のためとはいえ部活動や夏期講習に通うといった大変な我慢をするわけです。ストイックに頑張り続けることが大切なのは誰もが理解しているところですが、どれだけハイレベルな人でも、どれだけ年齢や経験を重ねた大人であっても、何度も目標を達成している人も、自身に襲いかかってくる大きなストレスに耐えなければいけないということですからやはりそれは大変なことだと思います。それがわかっているから正面から向き合うことに躊躇してしまうのであり、それだけ自分自身でしっかりと気持ちを固めるということは重要なことなのです。そういう意味では覚悟が決まった時には半分完了しているというのも納得ですし、この一歩はかなり大きなものなのだと改めて痛感させられます。

ここまで『大変』ということばかり述べ、みなさんの意欲に対して邪魔担っていないか心配ですが、毎日のように部活動で頑張っている時も、睡眠時間を削りながら机に向かって勉強をしている時も、大会で勝った時やテストでいいスコアを出せた時、ストレスはかなり飛んでいきます。もっと小さなことと言えばトレーニングをして腕が1cm太くなった、これまで解けなかった数式が解けるようになったなど“目標達成に近づいた！”と達成感に包まれる瞬間の喜びは何ものにも代えがたく、ひとつのゴールに到達して疲れているにも関わらず『まだこんなにエネルギー残ってたの？』と、自分自身に驚くような感覚になります。まさに“七転び八起き”です！今回の言葉では仕事がテーマでしたが、人生に置き換えてみてください。『私は人生の中で何度転んでも何度か起き上がってチャレンジできる！』と信じた時に、あなたの人生の半分は“成功”しているということだと思いませんか？そう信じられたら何歳になっても積極的にチャレンジできますし、ずっと大きな声で笑っていられるような気がします。一番自分を信じて応援できる人は自分自身です！